



2013-14 年度 R I のテーマ「ロータリーを實踐し  
みんなに豊かな人生を」  
R I 会長 ロン D. バートン (Engage Rotary, Change Lives)  
八戸南ロータリークラブ会報



●ガバナー 北山 輝夫 ● 会長 小原 隆平 ● 幹事 清川 浩幸 ● 会報委員長 三浦 晃  
ホームページ : <http://www.hi-net.ne.jp/~hsrclub/> Email : [hsrclub-2830@cd.hi-net.ne.jp](mailto:hsrclub-2830@cd.hi-net.ne.jp)  
RI 第 2830 地区ホームページ : <http://www.rotary-aomori.org>

第 1881 回例会記録《お花見例会》  
2014 年 5 月 8 日 (木) 点鐘 12:30 於 南宗寺  
レポート No. 1318

第 1881 回例会要旨

- ・ 会長要件
- ・ 幹事報告
- ・ 各委員会報告《出席、親睦》
- ・ 会員卓話



平光副 S A A

《出席報告》伊藤委員  
本日は、お花見例会です。

《ニコニコボックス》平光委員長

- 小原会長 : 田口さん、本日はお世話になります。  
清川幹事 : 田口さん本日はよろしくお願ひ致します。  
榊会員 : 田口さんよろしくお願ひします。  
鈴木会員 : 田口さんお邪魔します。  
久保田会員 : 田口さん今日はありがとうございます。  
山田会員 : 田口さんお世話になります。  
三浦晃会員 : 田口さん今日はありがとうございます。  
伊藤会員 : 田口さん今日はよろしくお願ひします。  
平光会員 : 田口さんよろしくお願ひします。  
田口会員 : 今日はありがとうございました。

《会長要件》小原会長



ソメイヨシノは散ってしまいましたが、八重桜が盛りを迎えていますし、我が家の小さなハナミズキも花が咲き始めました。こうして南宗寺さんでお花見例会を開催できて非常にうれしく思います。田口さんには、毎年お世話になり感謝しております。

5 月 3 日の蕪島海岸清掃には、八高 I A C の生徒さん、顧問の先生、当クラブのメンバー等 20 数名の方に参加いただきました。当日は、好天に恵まれとても爽やかな一日でした。野澤さんには毎回多大な御協力をいただき、御礼申し上げます。鈴木広報・I T・雑誌委員長の御骨折りにより、デーリー東北新聞社の取材を受けましたので、そのうち新聞に載るのではないかと思います。

さて、少し前になりますが、4 月 26 日 (土曜日) に八戸パークホテルで大澤一實日弁連前副会長の報告会が開かれ出席してまいりました。当日は、沢山の方々が出席されておりました。既に御承知とは思いますが、その様子が翌日のデーリー東北新聞に結構大きく掲載されておりましたので、御紹介いたします。



《幹事報告》清川幹事

先程行われました定例理事役員会で 6 月のプログラムが決まりましたのでお知らせします。

6 月 5 日 (木) 例会変更で早朝例会になります。朝 6 時 30 分長者山です。  
6 月 12 日 (木) 年度末各委員会報告例会。  
6 月 19 日 (木) 例会変更で南風会ゴルフ&年度末慰労例会、18 時 30 分ワシントンホテルです。  
6 月 26 日 (木) 新旧バッジ伝達式例会です。



## 《会員卓話》 田口会員

今日は死についてお話します。人間はなぜ死ぬか？ 微生物とか癌細胞は死にません、オスとメスの区別のないものを原核細胞と言いますが、大腸菌（微生物）や癌細胞のようにオスとメスの区別のないものは死なない、人間も含めてオスとメスの区別のあるものは死にます。脳死と言うものがあります。心臓は動いているが脳が死んでいるのを脳死と言いますが私は疑問に思っています。四千年の昔エジプトでは鏡を使って生死の判断を宗教者が行っていました。鏡が息で曇れば生きている、曇らなければ死んでいるという事です。現在の脳が死んでいれば死者だと言うのはキリスト教の考えで、脳が働かなければ動物と同じだから死んでいると言う考え方です。日本では明治のころからお医者さんが生死の判断をしています。脳死の問題についてもう少し考えていかないと今後難しい問題が出てくると思います。



臓器提供者をドナーと呼びますが、ドナーとはもともと仏教用語のダーナから来ています。江戸時代に檀家制度が出来皆さんがお寺に登録されました。この檀家とか旦那という考え方がヨーロッパに渡りダーナになりました。ダーナとは布施と書きますがこの布施がヨーロッパではドネーション（寄付）になり、さらにドナー（寄付する人）という言葉が生まれました。もともとは檀家さん、布施をする人と



いう意味です。布施には身を捧げるという意味もあり、これは仏教でも、キリスト教でも、他の宗教にもあります。脳が死んでいるので他の臓器を差し上げますと言うのはこの観点から言うとても良いことですが、脳死で人の生死を決める事に私は疑問を持っていますし、脳死というものはとても難しいものだと思います。何千年の昔から、呼吸も心臓も止まったと言うのが本当の死ではないでしょうか。

人間は 120 歳まで生きられます。脳は約 140 億の細胞で出来ていますがどんどん減っていき、90 億になればボケが始まり、半分の 70 億になれば死ぬのだそうです。体の細胞は再生しますが脳細胞は再生しません。エリザベス・キューブラー・ロスという精神医学の博士が言っていることですが、人間は死ぬ瞬間が最高に気持ちがいいそうです。ラジオ体操などでよく深呼吸と言いますが呼は吐く、吸は吸いこむのですが、実は吸って吐いて、吸って吐いてと吸呼をしています。三千年位昔の話ですが中国でも吐くのが先か、吸うのが先かで、呼吸と吸呼で迷ったそうです。呼吸は、吐いて吸って、吐いて吸ってと言う事で吸って戻ってこない人が終わりです。息を引き取ると言う事になります。その呼吸ですが人の一生で約 5 億回でお迎えが来るそうですので皆さんも今日から数えてみてください。心臓は四倍の約 20 億回動くと終わりだそうです。煩惱を吐いて、良いものを吸いこむのが一番いいことです。吸ったら吐かないと終わりますので気を付けてください。私は、お薬を飲んだり、健康な生活に気を遣ったりしても自然の力にはかなわないと思っています。私の宗派は禅宗で座禅を組みますが、座禅も先に息を吐き出す、吐いてゆっくり吸います。ゆっくり吸ってゆっくり吐くのが良いのです。我々は自然の分け前で生かされている、自然の自と分け前で自分という事が分かればいいのです。自分は自然の分け前で生きているという事を理解すれば自然体で生きていけると思います。呼吸はなるべくゆっくりして 5 億回の呼吸が終わった時は私の所へ来てください。

